

白バラよこはま

No.53

令和5年11月発行



横浜市明るい選挙推進協議会

横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045-671-3337

FAX 045-681-6479

▶【戸塚区】戸塚ふれあい区民まつりでの出展



◀【金沢区】金沢区選挙マスコット「いこら」着ぐるみ完成



▶【神奈川区】横浜F.C.かながわ区民DAY



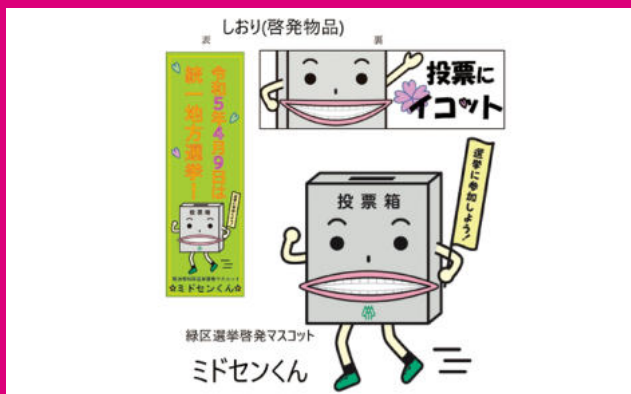
◀【中区】tvkかながわMIRAIエストライト



▶【磯子区】ポロシャツ(啓発物品)



◀【緑区】緑区選挙啓発マスコット「ミドセンくん」



▶【港北区】キャッチフレーズ入り啓発物品



◀【鶴見区】せんきょフォーラム



明るい選挙推進協議会に期待される役割

明るい選挙推進協議会は、

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治・選挙への関心を持ち、政党や候補者を見る目を養うこと

という3つの明るい選挙推進運動の目標を達成するため、これまで様々な活動を行ってきました。それらの活動に加え、今後、時代に即した新しい役割として、

- ①選挙事務への積極的な従事
- ②地域における投票制度の積極的な広報

を担っていくことが期待されます。

明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

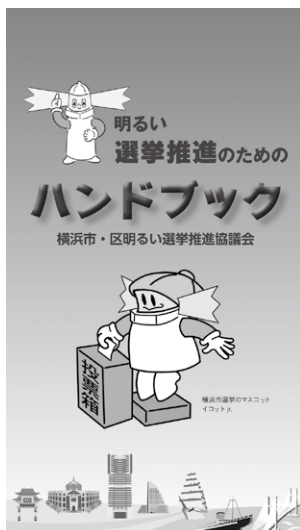
Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 期日前投票所や当日投票所の投票立会人等への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



目次

明推協に期待される役割、推進委員・推進員の心得	2
各区令和4年度の事業、令和5年統一選の実績	3～20
横浜市令和4年度の事業	21
令和5年統一地方選挙 啓発事業実績	22～23
横浜市若者選挙啓発団体「イコットプロジェクト」 「イコットJr.プロジェクト」の紹介	24
令和5年統一地方選挙 区別・年代別投票率	25
寄附禁止	26
各選挙における投票率の推移	27

鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目指し、各種啓発事業を実施しています。また、若年層に向けた、選挙・政治に対する意識向上が求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発にも力を入れています。

令和4年度は、区民祭り等で模擬投票を行うとともに、小中学生に向けた「標語コンクール」の実施、区内小学生へのせんきょフォーラムにて、将来の有権者への啓発活動を行いました。

選挙啓発事業では、統一地方選挙に向けたタウンニュースへの掲載やLICOPA鶴見店での街頭啓発活動、区内自治会館での啓発物品の配架を行いました。今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	推進委員総会(書面開催)	令和3年度の事業・決算報告及び、令和4年度の事業計画を審議。	
5月～12月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に夏休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、参加者全員に自身の標語を入れたメッセージカード、優秀作品を記入したクリアファイル、最優秀作品を記入した植物の種子を配付。 最優秀賞 「あなたの一票 鶴見を変えるよ さあ投票!」	応募総数：901点
7月	広報物を用いた啓発	明るい選挙標語コンクール参加促進のため、タウンニュースに応募要項を掲載。	
10月	つるみ臨海フェスティバル	ブースを出展し、実際の投票器材を使用したキャラクター投票を実施。	参加者：約350名
	鶴見大学紫雲祭	紫雲祭において、紫雲祭実行委員会と連携して、模擬投票(ジェンダーフリーファッションコンテスト)を実施。	参加者：約440名
12月	鶴見区明るい選挙推進研修会	選挙に対する意識向上のため、区明るい選挙推進研修会を実施。	参加者：15名
12月～令和5年1月	せんきょフォーラム	区内小学校にて、学校生活に身近なテーマで模擬投票を実施。	実施校：2校
通年	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙関連情報を中心に掲載、発行。	発行回数：3回
	投票器材の貸出し	区内の中学校・大学に投票器材貸出しを実施。	貸出し数：7校

▼ つるみ臨海フェスティバル



▲ 街頭啓発 (LICOPA 鶴見)

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
広報物を用いた啓発	統一地方選挙での投票率向上を図るため、選挙期日や投票場所等をタウンニュースに掲載。	
街頭啓発	投票率の向上を図るため、LICOPA鶴見店での啓発物品(ティッシュ及び植物の種子)を配布。	参加人数：6人
自治会館等への啓発物品の配架等	投票率の向上を図るため、区内の自治会館に啓発物品(ティッシュ)を配架。また、啓発用ポスターをJR鶴見駅に掲示。	自治会館数：3

▼ せんきょフォーラムでの開票の様子



神奈川県

神奈川県明るい選挙推進協議会は、神奈川県選挙管理委員会と連携・協力し、明るい選挙の推進、投票率の向上に向けて、様々な啓発活動を行いました。

若年層への啓発では、区内小学校、高等学校にて出前授業(せんきょフォーラム)を行いました。参加した児童・生徒からは大変好評で、選挙に触れる良いきっかけとなったようです。

また、新たな試みとして、横浜市イコットプロジェクト及び横浜市選挙管理委員会と連携して、神奈川大学での出前授業を実施しました。

さらに、投票率や啓発活動の報告を取り上げたイコット通信を2回発行したほか、5色付箋セット等の啓発グッズを作製しました。

今後も、より充実した啓発活動を実施してまいります。

▼ 神奈川県民まつり



▼ 啓発物品



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	横浜FCかながわ区民DAYへの参加	イコットJr.の着ぐるみを用いた明るい選挙の呼びかけや啓発物品の配布を実施。	入場者数：約6,100人
7月	横浜FC ECO パートナーDAYへの参加	ブースにて啓発物品の配布を実施。	ブース来場人数：約60人
10月	神奈川県民まつりへの参加	啓発ブースを出展し、選挙クイズや啓発パネルの設置等を実施。	クイズ参加人数：約600人
11月	明るい選挙推進員研修会	推進員を対象に横浜市会棟の見学を実施。	参加人数：6人
11月	神奈川大学での出前授業	横浜市イコットプロジェクト及び横浜市選挙管理委員会と連携して、「若年層の投票状況と選挙権年齢の引下げ」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数：約20人
11月	神奈川県立城郷高等学校での出前授業	神奈川県選挙管理委員会と合同で「若年層有権者の低投票率と課題」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数：約260人
令和5年1月	私立浅野学園高等学校での出前授業	「政治活動と選挙運動」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数：約260人
年2回 (令和4年9月、令和4年12月)	イコット通信の発行	投票率や啓発活動の報告を取り上げたお知らせを発行。	
通年	区内小学校でのせんきょフォーラム	区内小学校の児童を対象に、選挙の仕組みを説明し、学校生活に関するテーマで模擬投票を実施。	実施小学校：14校 参加人数：約1,100人
	乳幼児健診向け啓発物品の作製・配布	乳幼児の保護者に向けて選挙啓発に関するデザインのウェットティッシュを作製し、配布。	作製数：4,000個
	選挙器材の貸出し	区内中学校・高等学校を対象に、投票箱、記載台等の器材貸出しを実施。	対象校数：中学校6校 高等学校4校
	啓発物品の作製・配布	啓発物品(5色付箋セット、ボールペン)を作製し、配布。	作製数：5色付箋セット500個 ボールペン400本

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発懸垂幕等の設置	神奈川県役所に選挙啓発の懸垂幕等を設置。	
広報よこはま3月号への掲載	広報よこはま3月号に、選挙についての特集記事を掲載。	
庁内モニターへの掲載	神奈川県役所内の庁内モニターに、選挙情報を掲載。	
区内施設に啓発用ポケットティッシュを配架	神奈川県役所、神奈川県図書館、神奈川大学、神奈川スポーツセンター、区内地区センターに啓発用ポケットティッシュを配架。	約3,600個
東神奈川駅への横断幕の掲出	東神奈川駅改札前に選挙啓発用横断幕を設置。	
啓発ステッカー付はがきの送付	過去のせんきょフォーラムで児童が未来の自分に向けて書いた手紙に、選挙の周知ステッカーを貼付して各宛先へ送付。	対象者数：約400人



▲ 神奈川大学での出前授業

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と投票率向上のため各種啓発事業を実施しています。

令和4年度も多くのイベントが縮小されましたが、感染症対策に留意しながら啓発事業を実施しました。

12月にはハマのウォーキングフェスティバルで啓発キャッチフレーズ入りネックストラップの配布を行いました。3月のみなとみらい21 さくらフェスタ2023はイコット Jr. の出演と啓発資料の配布を予定していたところ、悪天候により啓発資料の配布のみとなりましたが、多くの方に選挙への関心意識を高めていただけるようPRしました。

昨年度に比べ、イベントも活発になっていくことと思われまます。今後も推進委員・推進員の皆様とより一層効果的な啓発活動に取り組みまます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年4月	定例会	令和3年度事業実績及び決算報告、令和4年度予算審議。	参加人数：8人
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者が使用するネックストラップに啓発キャッチフレーズを印字して提供。	参加人数：641人
令和5年3月	みなとみらい21 さくらフェスタ2023	イベントにて、啓発資料の配布。	来場者数：4,100人
通年	学校での生徒会選挙等の実践啓発	記載台や投票箱等の貸出し。	貸出し数：6校
	明推協だより	推進委員・推進員向け機関紙の発行。	
	啓発物品の作製	啓発物品（ネックストラップ、反射ストラップ）を作製。	

▼ 高島町駅周辺街頭啓発



▼ ネックストラップ
(ハマのウォーキングフェスティバル)



反射ストラップ ▲

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発「ザ・イコット」	戸部駅、高島町駅、西横浜駅周辺での街頭啓発を実施。投票参加を呼び掛けながら、通行人に啓発物品（ポケットティッシュ）を配布。	配布数：2,000個
	各自治会・町内会のイベント等における啓発物品（ポケットティッシュ）配布を依頼。	配布数：4,000個
区独自啓発	相鉄線車内広告、タウンニュースへの掲載。	

中 区

▼ せんきょフォーラム開票作業

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。春から秋にかけて「tvk かながわMIRAIストリート」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模イベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れてもらいました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」では、713 作品という多数の応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、入賞者を対象とした表彰式を行いました。

この他にも投票器材の貸出しやせんきょフォーラムの実施など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年 5月	tvk かながわ MIRAIスト リート	横浜公園・日本大通りで開催された「tvk かながわMIRAIストリート」で模擬投票を実施。	参加人数： 583 人
11月	中区民祭り (ハローよこはま)	象の鼻パークで開催された中区民祭り「ハローよこはま 2022」に参加。	参加人数： 1,131 人
11月	せんきょフォー ラム	区内の中学校で「出前授業」を実施。 (11月18日 港中学校)	参加人数： 20 人
12月		区内の小学校で「給食選挙」を実施。 (12月15日 本牧小学校)	参加人数： 90 人
通年	選挙器材の貸出し	区内の小中学校で、模擬選挙や生徒会選挙などの用途で貸出し。	中学校4校 高校1校 イベント 等5件 計10件
	中区明るい選 挙推進作文コン クール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施。	応募件数 713 作品 入賞者18名
	明推協通信「イ コットニュース」 の発行	推進員等への情報提供と、選挙啓発意識の向上を目的とした機関紙の発行。	発行回数： 年3回 (6月、11月、 3月)



▲ 作文コンクール表彰式

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	啓発用のポケットティッシュを配布。 実施日：令和5年4月2日(日) 実施場所：伊勢佐木地区、本牧地区 (各1回)	参加人数： 12 人



▲ 中区民祭りハローよこはま 2022 マスコット

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

今年度は、3年ぶりに南区明るい選挙映画会を実施することができ、若年層や子どもを中心とした層への選挙啓発を行うことができました。

統一地方選挙における選挙時啓発活動は、タウンニュースに期日前投票スケジュールの記事を掲載しました。一方で、蒔田公園や大岡川で行われる「みなみ桜まつり」においても啓発活動を行う予定でしたが、豪雨により中止となりました。

その他年間を通して、市内小学校への出前授業と模擬選挙を行うせんきょフォーラムや、市内中高校に選挙器材を貸し出しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年8月	南区明るい選挙映画会	南公会堂にて若年層（主に小さな子どもを持つ親等）への啓発を目的として、選挙アニメ・映画を上映。 受付に選挙啓発パネルを掲出。受付時や上映後には啓発物品の配布。また、上映後のアンケートは実際の記載台や投票箱を用いて模擬投票を実施。	参加人数：30人
9月	せんきょフォーラム	区内の3校で、選挙における出前授業と、給食メニューや、「自分が校長になったら」をテーマに、投票から開票までを経験する模擬投票を実施。	参加人数：231人
11月	推進員研修会	選挙啓発への知識や理解を深めるため、横浜市選挙管理委員会事務局選挙課長を講師として研修会を実施。	参加人数：45人
12月	区内高校への啓発活動	低投票率の続く若年層向け啓発の一環として、「新有権者のためのまるわかり投票ガイド」と題した啓発パンフレットを製作し、区内の高校4校にご協力をいただき、高校3年生に配付。	配付数：1,080冊
令和5年3月	みなみ桜まつり	南区春の風物詩的行事「みなみ桜まつり」の会場である大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲出。	
通年	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関紙にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行し、ホームページにも掲載。	

▼ 生徒が候補者となったせんきょフォーラム



▲ 推進員研修会の様子

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	啓発物品作製	啓発物品として、「まねっきー」のイラスト付きエコバッグと、推進委員が着るためのジャケットを作製。	
	選挙器材貸出し	未来の有権者の選挙への関心を高めるために、生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施。	貸出し校数：12校

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
タウンニュース広告掲載	タウンニュース（南区版）に掲載。 発刊日：3月30日（木）号	
街頭啓発「ザ・イコット」	「みなみ桜まつり」にて啓発グッズの配布を行う予定であったが、豪雨により中止。	



▲ 明るい選挙映画会でのアンケート回収

港 南 区

▼ せんきょフォーラムの様子

港南区明るい選挙推進協議会では近年、特に若年層への啓発に力を入れています。

昨年度は「若者会議」「こうなん子どもゆめワールドへの出展」「高校文化祭での物品配架」「せんきょフォーラム」などの啓発活動を行いました。

また、統一選時は駅前で投票を呼びかけました。

さらに、啓発物品として絆創膏とタオルを製作し、イベント時に配布しました。これらの物品は日用品として取り入れてもらうことで、選挙を身近に感じてもらうことを目的としています。

今後も引き続き、推進委員・推進員の皆様のご協力のもと、より多くの区民の方に選挙への関心を寄せていただけるような啓発活動に努めていきます。



▲ 研修会（市会棟見学）の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	明るい選挙推進協議会委員会	令和3年度の事業報告、令和4年度の事業計画等の審議。	参加人数18名
9月～11月	若者会議	区内の高校5校に選挙に関する意見交換の場を設けてもらうよう依頼。結果は電子アンケートにて受信。	電子アンケート 回答数393
9月～12月	高校文化祭での選挙啓発ブース出展	区内の高校4校にて、選挙に関する資料と、啓発物品（絆創膏）の配架。	
11月	こうなん子どもゆめワールドでの選挙啓発ブース出展	子ども向け啓発パネルの展示、選挙クイズを実施。	参加人数約1300名
11月	明るい選挙推進大会・研修会	令和4年度事業の進行状況の発表。選挙に関する意識を高めるために市会棟を見学。	参加人数24名
11月・12月	せんきょフォーラム（模擬選挙）	区内の小学校4校にて選挙に関する授業および給食メニューやデザートを決める模擬選挙を、実際の選挙物品を用いて実施。	参加人数約180名
年3回	明推協だよりの発行	推進委員、推進員に向けた活動の報告。令和4年度は5・9・1月に発行。	
通年	啓発物品の作製	めいすいくんやスローガンが印字された啓発用タオルと絆創膏の作製。	
	選挙機材の貸出し	区内の中学校や高校の生徒会選挙等のため投票箱や記載台などの選挙器材の貸出し。	

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	上大岡駅および港南台駅前にて啓発用のティッシュを配布し、投票を呼びかける街頭啓発を実施。	推進員2名
広報紙及びX（旧 Twitter）	タウンニュースや、港南区のX（旧 Twitter）、デジタルサイネージへの掲載。	



高校文化祭配架物品 ▶

保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、将来の有権者となる若年層への啓発と、地域による選挙啓発活動の支援を中心に活動しました。

若者向けの活動では、「ほどがやバンドバトル」を開催しました。優勝バンドを投票で決定したり、選挙について最も素晴らしいアピールをしたバンドに特別表彰を行うなど、選挙啓発を意識した企画を行いました。

また、地域への啓発活動の支援を目的として、ジャンパーとウェットティッシュを作製しました。春の統一地方選挙では、作製したジャンパーを着用して街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、投票参加を呼びかけました。

▼ せんきょフォーラム（桜台小学校）



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	定例会	(1) 令和3年度事業報告・収支決算報告及び監査報告 (2) 令和4年度事業計画案及び予算案等	参加人数：17人
11月	ほどがやバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、高校生によるバンドバトルを開催。 参加した高校生バンドによる選挙啓発の選挙クイズなどによる選挙啓発を実施。	参加バンド数：14組 学生スタッフ：約100名(出演メンバーを含む)
11月	第1回企画運営部会	(1) 企画運営部会長の改選について (2) 地域啓発用の啓発物品の作製について	
12月～令和5年1月	せんきょフォーラム	小学校6年生を対象に、各学校が設定したテーマによる模擬選挙の実施。	実施校数：区内小学校4校 児童数：340人
2月	第2回企画運営部会	(1) 地域啓発用の啓発物品の作製について(報告) (2) 令和4年度明るい選挙推進協議会事業の活動について (3) 令和5年度明るい選挙推進協議会事業計画(案)について	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材貸出し	区内の学校に生徒会選挙等での使用を目的に、投票箱等の選挙器材の貸出しを実施。	貸出し校：7校 内訳： 小学校(1校)・ 中学校(4校)・ 特別支援学校(1校)・ 特別養護学校(1校)
年3回	「明推協だより」の発行	推進委員、推進員向けの機関紙を発行。	6月・12月・3月

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	保土ヶ谷駅及び星川駅周辺で、啓発用ポケットティッシュの配布。	参加人数：11人



街頭啓発「ザ・イコット」▶

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発活動を実施しています。

令和4年度においては、3年ぶりとなる対面での定例会議を皮切りに、選挙時啓発、区民まつりの対面実施を復活させ、投票参加を呼びかけました。また、課題である若年層対策については、区内全高校の高校3年生に新有権者向けパンフレットと啓発物品を配付し、選挙に対する意識向上に努めました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙に一人でも多くの方に関心を持っていただけるような啓発活動を行ってまいります。



▲ せんきょフォーラム



▲ 街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 二俣川駅構内広告

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	対面で定例会議を実施。 【主な議題】 (1) 規約の一部改正 (2) 令和3年度事業報告及び決算報告 (3) 令和4年度事業計画(案)及び予算(案) 【開催日】令和4年5月26日 【場所】旭区役所本館3号会議室	参加人数 推進委員：10名
10月	旭ふれあい区民まつり	啓発グッズの配布や選挙クイズによる投票体験を実施。若年者の投票率向上のため、お子様向けのイベントコーナーを設置。 【開催日】令和4年10月16日(日) 【場所】旭区役所地下駐車場	参加人数 推進員：8名 来場者：約700名
11月～令和5年1月	せんきょフォーラム	選挙に対する理解・関心を深めることを目的として、区内の小学生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬選挙を実施。 【開催日・実施校】 (1) 令和4年11月11日 今宿小学校 (2) 令和5年1月20日 本宿小学校 (3) 令和5年1月26日 中尾小学校	参加児童数 (1) 今宿小学校 6年生107名 (2) 本宿小学校 6年生118名 (3) 中尾小学校 6年生64名
〃	高校生向け啓発	区内全7校の高校3年生に新有権者向けパンフレットとともに、選挙啓発オリジナルクリアホルダーを配付。	区内全7校の高校3年生約1,600名
通年	選挙機材・物品の貸出し	区内の高等学校・中学校等の生徒会選挙時に投票箱・記載台等の選挙機材や腕章・たすき等の選挙運動用物品の貸出しを実施。	貸出し学校数 11校
〃	イコット通信の発行	推進委員・推進員への情報提供や推進員相互の連帯意識の向上を図るため機関紙「あさひイコット通信」を発行。	年3回

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	統一地方選挙に向けて、主要駅にて啓発物品の配布・投票の呼びかけを実施。 場 所：相鉄線二俣川駅 配布個数：1000個	参加人数： 推進員3名
X(旧Twitter)・LINEでの選挙啓発	期日前投票所の開設情報や混雑状況等を発信。	期間： 5年3月31日～4月9日 X(旧Twitter)：3回 LINE：1回
相鉄線車内広告	相鉄沿線5区(西、保土ヶ谷、旭、泉、瀬谷)合同で、相鉄線車内に期日前投票に係る周知広告を掲出。	期間： 5年3月1日～3月31日 掲出件数：約450箇所
交通機関へのポスター掲出(期日前投票所移転周知関係)	旭区内の相鉄線各駅及び相鉄バス車内に期日前投票所の移転周知ポスターを掲出。	期間： 5年3月4日～4月14日 掲出件数 相鉄線駅：4駅 相鉄バス：120台
広報よこはまへの記事掲出(期日前投票所移転周知関係)	広報よこはま旭区版に、期日前投票所移転の特集記事を掲出。	発行日： 5年4月1日 発行部数： 98,000部
地域紙への記事掲出(期日前投票所移転周知関係)	地域紙「タウンニュース」に、期日前投票所移転の特集記事を掲出。	発行日： 5年3月23日 発行部数 45,400部
自治会町内会ポスター掲示(期日前投票所移転周知関係)	区内自治会町内会掲示板に、期日前投票所移転ポスターを掲示。	依頼自治町内会： 236団体 掲示箇所： 1,450箇所

磯子区

3年ぶりの開催となった磯子区民まつりでは、選挙に関するクイズの出題を行い、約900人の方々にご参加いただきました。

10月には、区として初めての事業である「選挙に行こう！こども映画会」を開催し、横浜市選挙管理委員会の「イコット Jr.」と磯子区の「いそっぴ」のマスコットキャラクター選挙を行い、小学生に投票体験をしてもらいました。

また、令和5年4月執行の統一地方選挙では、推進委員・推進員の皆様にご協力いただき街頭啓発を行ったほか、区の独自啓発として、投票率の向上を目的とした啓発ポスターを作製し、区内全駅とデジタルサイネージへの掲出を行いました。

今後も、選挙への関心が高まるような啓発活動を行っていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	磯子区明い選挙推進協議会定例会議	令和3年度の事業・決算報告、及び令和4年度の事業計画・予算案についての審議。	書面開催
8月	磯子区明い選挙推進研修会	「選挙に関する基礎知識」についての研修。	書面開催
9月	磯子区民まつりにおけるブース出展	選挙に関するクイズを出題し、参加者に啓発物品を配布。	参加人数：約900人
10月	選挙に行こう！こども映画会	小学生と保護者を対象に映画会の開催。映画上映前に、マスコットキャラクターを選挙投票体験を実施。	参加人数：約110人
11月	明い選挙推進大会	投票参加の促進ときれいな選挙の実現に向けた記念講演と、パネルによる区の活動報告。	
12月～令和5年1月	せんきょフォーラム	区内の小中学校でせんきょフォーラム「給食選挙」を実施。 【実施校】 ・洋光台第四小学校 ・梅林小学校	参加人数：計146人
3月	磯子区明い選挙推進協議会臨時会議	令和4年度の事業・決算報告、及び令和5年度の事業計画・予算案についての審議。	書面開催
通年	生徒会支援事業	区内外の小中学校・高等学校に選挙器材の貸出し。	貸出し校数：小学校1校 中学校7校 高等学校2校
	明推協だより発行	推進委員・推進員を対象に、事業紹介や活動報告、選挙結果等を掲載した機関紙を年3回発行。	

▼ 磯子区民まつり 選挙クイズの様子



▲ こども映画会
マスコットキャラクター選挙



統一地方選挙 啓発ポスター ▶

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区庁舎における啓発	啓発ポスターの掲示、啓発懸垂幕の設置、電光掲示板における選挙情報の放映及び啓発用ポケットティッシュの配布。	
街頭啓発「ザ・イコット」	区内の商業施設・駅周辺で、啓発用のポケットティッシュを配布。 実施場所：Beans 新杉田、相鉄ローゼン 磯子店 配布個数：約900個	参加人数：計16人（推進委員・推進員、選挙管理委員会委員、事務局）
SNSによる情報発信	区公式X（旧Twitter）アカウントによる期日前投票の告知。	
広報紙への記事掲載	広報よこはまとタウンニュースに、選挙期日前投票の告知。	
デジタルサイネージにおける広告掲載	京浜東北・根岸線新杉田駅のNewDaysビジョンに啓発広告を放映。	
区独自ポスターの作製と掲示	独自の啓発ポスターを作製し、区内の駅に掲示。 掲示場所： 【京浜東北・根岸線】根岸駅、磯子駅、新杉田駅、洋光台駅 【京急線】屏風浦駅、杉田駅 【シーサイドライン】新杉田駅	

金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、啓発活動を企画・実施しています。

令和4年度は3年振りに金沢区民まつり「いきいきフェスタ」に明推協ブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票を行いました。

また毎年当区では、将来の有権者である中学生に向けた主権者教育として、「せんきょフォーラム」を開催しています。令和4年度は市立小田中学校で落語家による講演会を行いました。

この他にも、区内各学校への選挙器材の貸出しなどを行い、若い世代の政治・選挙に対する意識向上を目指し活動しています。

▼ 金沢まつりいきいきフェスタでの啓発



▲ 落語家による講演（選挙フォーラム）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年 10月	金沢まつりいきいきフェスタ ブース出展	明るい選挙推進協議会の活動を広く区民に周知するため金沢まつりいきいきフェスタに出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票、選挙啓発パネルの掲示を実施。	参加人数 1743人
11月	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催。 会場：横浜市立小田中学校 演題：「そうだ、投票に行こう！ ～笑い溢れる、明るい未来～」 講師：桂 三四郎（落語家）	参加人数 3年生 約120人
12月	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版及び区役所HPに選挙に関するクイズを掲載、正解者に抽選で啓発グッズを贈呈。	
令和5年 1月	金沢区明るい選挙推進委員会・推進員研修会 (書面開催)	選挙についての知識を身につけていただくことを目的に、区で作成した研修資料を配付。	
通年	明推協にゆうすの発行	推進委員及び推進員向けに事業に関する情報提供や意識向上を目的に機関紙を発行（年3回：6月、9月、1月）。	
	選挙出前授業	区内小・中・高等学校を対象に選挙の重要性や関心を高めるため、出前授業を実施（年2回：11月、12月）。	実施校数 小学校：1校 高等学校：1校

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出し	生徒の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に選挙器材を貸出し。	貸出し件数 中学校： 10校 特別支援 学校：1校

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発「ザ・イコット」の実施	金沢文庫駅西口周辺で、帰宅途中の方をターゲットとして、投票参加を呼びかけながら選挙啓発ポケットティッシュを配布。	参加人数 12人



▲ スライドを使用した講義（選挙出前授業）

港 北 区

港北区明るい選挙推進協議会では、区民の皆さんの選挙・政治意識の向上のため、様々な事業を行っています。

令和4年度は、これまで新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたイベント等が徐々に再開され、明るい選挙の啓発も3年ぶりに通常の形での活動が戻ってきました。また、将来の有権者向けの新規事業としてキャッチフレーズコンテストを開催し、433の応募の中から入賞作品9点を選び、表彰を行いました。入賞作品は、広報や啓発物品等で活用しています。

令和5年4月の統一地方選挙では、多くの推進員の協力のもと、駅周辺や商業施設にて、通行人に啓発物品を配布しながら、投票参加を呼びかけました。

今後も推進委員・推進員の皆様と連携して、選挙への関心を高め、投票行動につながるような啓発活動を実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	定例会議	令和3年度の事業報告、令和4年度の事業計画について審議。	推進委員：17人
7月～11月	キャッチフレーズコンテスト	区内在住・在学の小中高生を対象とした、選挙啓発に係るキャッチフレーズを募集。入賞作品は、統一地方選挙時啓発事業等に活用。	応募総数：433点
8月	インターンシップ	大学生を対象とした、選挙の仕事体験をするインターンシップを実施。学生との意見交換を通して、若年層への啓発手法を模索。	受入人数：6人
11月	推進研修会	推進委員及び推進員を対象とした、表彰及び研修を実施。 ・講師：高崎経済大学地域政策学部教授 増田 正 氏 ・テーマ：地方議会と主権者教育	参加人数：50人
11月	ふるさと港北ふれあいまつり	横浜アリーナで開催されたふるさと港北ふれあいまつりに、実際の投票箱や記載台を用いたキャラクター選挙のブースを出展。	来場者数：1,000人
令和5年2月	大倉山観梅会	大倉山公園梅林で開催された大倉山観梅会にブースを出展し、キャッチフレーズコンテスト入賞作品がプリントされたウェットティッシュを配布し、統一地方選挙への投票参加を周知。	配布個数：700個
通年	せんきょフォーラム	区内の小学校・高等学校で、模擬投票を通して投票することの大切さを学ぶための出前授業を実施。(3校) ・太尾小学校(令和4年5月18日) 選挙内容：給食のデザート選挙 ・綱島小学校(令和4年9月29日) 選挙内容：学年集会のテーマ選挙 ・清心女子高等学校(令和5年1月13日) 授業内容：選挙の基礎知識	参加人数：計259人
通年	イコット通信	推進委員及び推進員を対象として発行し、啓発事業の報告やスケジュール等の情報を共有。(8月、1月)	発行回数：2回
通年	選挙器材の貸出し	選挙を身近に感じてもらうため、生徒会役員選挙などを対象に、区内小中学校及び高等学校に選挙器材を貸出し。	学校数：12校

▼ せんきょフォーラム (太尾小学校)



▲ 街頭啓発 (イオン新吉田店前)

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	区内各駅周辺やトレッサ横浜等の商業施設にて、啓発物品(ポケットティッシュ)の配布やのぼり・プラカードを掲出し、投票参加を呼びかけ。	参加人数：115人 実施箇所：18箇所 配布数：13,000個
各種広告掲載 広報よこはま港北区版への 広告掲載	広報よこはま3月号(港北区版)へ広告を掲載し、区民に広く周知。	
タウンニュース港北区版への 広告掲載	タウンニュース港北区版(4月6日発行)へ広告及びキャッチフレーズコンテストの入賞作品を掲載し、区民に広く周知。	
バス車体後部への 広告掲載	東急バス車体へ広告を掲載し、バス走行エリアの区民に周知。	新羽営業所管内 25路線、 15台
区ホームページ	区ホームページに特設ページを掲載。	
区庁舎	区庁舎に懸垂幕・ステッカーを掲載。	
X(旧 Twitter)	統一地方選挙の案内記事を港北区X(旧 Twitter)アカウントで投稿。	

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会は、区民に政治や選挙への関心を高めてもらうことを主な目的として活動しています。

令和4年度は新しい試みとして「緑区明るい選挙啓発マスコットキャラクターコンテスト」を行い、「緑区民まつり」等に出展、投票や啓発物品の配布等を行い幅広い年齢層を対象に啓発を行いました。

また、区内の学校での「出前授業」では、「選挙」についての講義や選挙器材を用いた模擬投票で、選挙への具体的なイメージを持ってもらうことで、「せんきょフォーラム」も含め、若年層への啓発活動を推進しました。

今後も、推進委員・推進員の皆様と連携して効果的な啓発活動に取り組んでまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年 5月27日	出前授業（県立みどり養護学校（現：みどり支援学校））	高等部3年生を対象に、選挙とはなにか、どのようにして代表者が決まるかについて説明したのち、参議院選挙に合わせて選挙器材を用いた模擬投票を実施。	参加人数： 20人
5月～10月	緑区明るい選挙啓発マスコットキャラクターコンテスト	区内中学校から作品を募集し、区役所や緑区民まつりに加え、明推協推進委員、推進員による投票を実施。上位10作品の中から審査会にて「ミドセンくん」に決定。	応募作品数： 48作品 投票者数： 812人 入賞：4作品
10月16日	緑区民まつり出展	3年ぶりに開催された区民まつりに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもと選挙器材を用いて、明るい選挙啓発マスコットキャラクターの投票を実施。	投票者数： 713人
令和5年 2月16日	出前授業（東本郷小学校）	6年生を対象に、「選挙とは何か」「どのような経緯を経て18歳から投票できるようになったか」などを説明したのち、「地域の良さを取り入れたマスコットキャラクター」をテーマに模擬投票を実施。	参加人数： 140人
2月22日	せんきょフォーラム（鴨居中学校）	3年生を対象に、主権者教育アドバイザーの講師を招き、「政治とは何か」「社会や政治は自分たちと身近な関わり」などをテーマにワークショップ形式で実施。	参加人数： 200人
通年	イコット通信の発行	明推協推進委員、推進員を対象とした機関紙を発行し、各事業の告知や報告を実施。	発行回数： 3回
通年	選挙器材の貸出し	区内の学校を対象に、投票箱や記載台等の選挙器材の貸出し。	貸出し校数： 8校
通年	啓発物品の作製	啓発物品として、投票所でのルール等を載せた下敷き、花の種を作製。	

▼ 鴨居中学校でのせんきょフォーラムの様子



▲ 区民まつりでのマスコットキャラクターコンテストの投票の様子

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ザ・イコット	緑区内の公共施設（図書館や地区センターなど）、緑区役所の窓口課など各施設にてポケットティッシュを配架。	施設：7件 緑区役所内：4課
ザ・イコット（鴨居桜まつり）	緑区明るい選挙啓発マスコットキャラクター「ミドセンくん」のしおりや選挙啓発パンフレットの配布を通じて投票参加の呼び掛けを実施。	参加人数： 300人



▲ 東本郷小学校での出前授業の様子

青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目指し、「若年層啓発」を中心とした活動を行っています。

具体的な取組として、小学6年生を対象とした「せんきょフォーラム」、中学生を対象とした「青葉区明るい選挙推進作文コンクール」のほか、高校文化祭ではパネル出展を行い、区民まつりでは模擬投票と輪投げを行いました。

令和5年4月に執行された統一地方選挙の啓発事業については、東急田園都市線青葉台駅にて、ポケットティッシュやトートバッグ等を配布しました。駅設置のPRボックスを活用し、期日前投票所の周知も行いました。



▲せんきょフォーラム模擬投票の様子



▲区民まつりの様子



▲作文コンクール表彰式の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	令和3年度事業実績・決算報告及び令和4年度事業計画・予算審議等を実施。 開催日：令和4年4月26日(火) 場所：青葉区役所	参加人数：9名 (推進委員)
5、8月	企画・運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員の中で希望者を募り構成されたチームが主体の会議。 ①明推協の活動方針確認、②参議院議員通常選挙について、③せんきょフォーラムの実施、④作文コンクールの実施、⑤高校文化祭の参加、⑥区民まつりの企画内容等について、意見交換を実施。 (1) 第一回開催 開催日：令和4年5月11日(水) 場所：青葉区役所 (2) 第二回開催 開催日：令和4年8月4日(木) 場所：青葉区役所	(参加人数) (1) 9名 (推進委員・推進員・事務局) (2) 8名 (推進委員・推進員・事務局)
7月～11月	青葉区明るい選挙推進作文コンクール2022	選挙や政治・社会について関心を持ってもらうとともに、選挙に対する区民の意識を高めることを目的として、区内の中学校に通学する中学生を対象とした作文コンクールを実施。 計261作品より10作品が入賞。	参加人数：261名 (区内中学校在学学生)
10月	高校文化祭への参加	青葉区明るい選挙推進協議会の活動内容をポスターとして掲示し啓発物品の配布を実施。 開催日：令和4年10月28日(金)～29日(土) 開催場所：県立市ヶ尾高等学校	
11月	青葉区民まつり2022	青葉区明るい選挙推進協議会としてブース出展をし、選挙に関するクイズや輪投げ、模擬投票を実施。さらに、区民祭り会場内で来場者に「青葉区の投票率をあげるためには？」というテーマでアンケートを実施。	参加人数：28名 (推進委員・推進員・事務局)
12月	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員研修会	講義とグループワークの二部構成で実施。 開催日：令和4年12月6日(火) 場所：青葉区役所 <内容> (1) 第1部 講義 テーマ：「政治活動と選挙運動について」 講師：青葉区選管事務局職員 (2) 第2部 グループワーク テーマ：「若年層への啓発活動について考える」 進行：青葉区選管事務局職員	参加人数：43名 (推進委員・推進員・事務局)
10月～12月	青葉6大学への働きかけ	若年層への啓発の一環として、区内6つの大学の担当者会議に出席し、活動参加メンバーの募集を呼びかけると共に、各大学にチラシ配架を依頼。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	せんきょフォーラム	将来の有権者である小学6年生を対象に、選挙への関心や知識の向上を目的として、出前授業と模擬投票を2校で実施。 授業は青葉区選管事務局職員が講師となっており、先生が主体となって模擬投票を行った。また、投票に参加したという実感を持ってもらうために、選挙啓発マスコットをデザインしたオリジナルの投票証明書に参加者全員に配布。 <実績> ・令和4年12月14日(水) 黒須田小学校 ・令和5年1月20日(金) 山内小学校	(参加人数) 88名 80名
通年	イコット通信の発行	選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、推進委員及び推進員への送付や、青葉区明るい選挙推進協議会のホームページへの掲載を実施。 発行回数：年3回 (令和4年7月、11月、令和5年2月)	
通年	投票器材貸出し	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙等で、区内の中学校・高校に投票箱や記載台等の貸出しを実施。	貸出し実績： 15件 (中学校：12件 高等学校：1件 特別支援学校：2件)
通年	啓発物品の作製	常時啓発の物品として、不織布トートバッグ、ハンドタオルを作製。	高校文化祭等のイベント、青葉区役所窓口で配布。

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	駅構内でフラカードを掲げ、啓発物品(ポケットティッシュ、マイクロファイバークロス、不織布トートバッグ、期日前投票所案内チラシ)を配布しながら、投票日・期日前投票等の周知、投票参加の呼びかけを実施。 開催日：令和5年3月18日(土) 場所：東急田園都市線青葉台駅	参加人数：9名 (推進委員・推進員・事務局)
広報よこはま青葉区版掲載	青葉区版の広報よこはままで期日前投票所の場所・日時の案内を掲載。 掲載日：令和5年3月号	
タウンニュース青葉区版広告掲載	青葉区版のタウンニュースに区が作成した記事を掲載。 掲載日：令和5年3月2日号	

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して各種啓発事業を行っています。

都筑区明るい選挙推進協議会の特徴は、区内15の地区に「地区協議会」を設けている点で、代表の推進委員を中心に、各地区で企画した活動を実施してもらうことで、地域に密着した啓発を実現しています。

統一地方選挙時には、約4年ぶりに街頭啓発「ザ・イコット」を実施しました。また、乳幼児健診で来庁した保護者を対象に啓発を行うなど、投票率が低い層をターゲットとした活動にも取り組みました。

引き続き推進委員・推進員のみなさまのご協力のもと、様々な活動に取り組んでまいります。

▼ 街頭啓発「ザ・イコット」



▲ せんきょフォーラム

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年 4月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度実施事業の振り返り及び決算報告、令和4年度事業計画について協議、決定。	参加人数：18人
5月	都筑区明るい選挙推進大会	令和4年度事業計画を推進委員及び推進員に共有し、決議文を採択。東京大学教育学部長の小玉重夫先生を招き、「主権者教育と若年層の政治参加について」と題した研修を実施。	参加人数：56人
8月	明推協PR事業	センター南駅前すきっぷ広場にて開催された「星空のコンサート」に協賛し、来場者へ明推協のPR活動を実施。	
11月	都筑区民まつりでの啓発	来場者に啓発物品を配布。着ぐるみ（イコットJr.）との写真撮影スポットを設置。	
令和5年 3月	「めいすい通信」の発行	明推協の活動を地域の方へPRするため、各自治会・町内会に回覧する広報誌を発行。	
通年	「明推協だより」の発行	推進委員・推進員を対象として、明推協事業の紹介や活動報告等を記載した機関紙を発行。	年3回 (6月、9月、2月)
	せんきょフォーラム	都筑区内の小学6年生を対象として、選挙に関する講義や身近なテーマに絡めた模擬投票を実施。	参加校数：4校 参加児童数：計402人
	地区協議会事業	各地区協議会では、地域のお祭りに参加するなどの啓発を実施。メモ帳等の啓発物品を各地区に配付し啓発に活用。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出し	都筑区内の小、中及び高等学校に向けて選挙器材の貸出しを実施。	貸出し校数：8校 (中学校7校、高等学校1校)

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	センター北駅前・センター南駅前、通行人に投票を呼びかけるとともにティッシュを配布。	参加人数：19人
乳幼児健診での物品配布	都筑区乳幼児健診の会場で啓発ポスターを掲示し、来場した保護者に啓発物品のタオルを配布。	来場者数：約640人



▲ 星空のコンサート（センター南駅前）

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、3部会に分かれて各種啓発活動を行っています。

令和4年度は、3年ぶりに開催の「戸塚ふれあい区民まつり」で選挙啓発ブースを出展したほか、推進委員・推進員を対象に集合研修も実施し、対面での活動を行いました。

一方で、対面形式によらない啓発事業として、不在者投票の制度内容やオンライン請求での申請方法を紹介する啓発動画を作成し、公開しました。4分程度で気軽に見ていただける動画となっています。

そのほか、区内の学校へ生徒会選挙等のための投票機材の貸出しや、出前講座を行うなど若年層への啓発にも取り組んでいます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年4月	戸塚区明るい選挙推進協議会総会	全推進委員・推進員を対象とした総会。令和3年度の事業実績と収支決算報告及び令和4年度の事業計画と収支予算について審議、決定。	
11月	戸塚ふれあい区民まつり	模擬投票や啓発物品の配布を行う選挙啓発ブースの出展。	来場人数：1,249人
令和5年1月	啓発動画の作成	「はじめての不在者投票！」を題材とした動画を区ホームページや横浜市公式YouTube等に公開。	
1月	明推協推進員等研修会	推進委員・推進員を対象に、「選挙の見方が変わるかも！選管職員たちの舞台裏＋皆様からいただいた質問にお答えします！」をテーマとした集合研修を実施。	参加人数：34人
通年	『未来の有権者』育成事業	区内小学校・中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうために、投票箱や記載台等の機材を貸出し。	区内11校の小学・中学・高校に貸出し
通年	せんぎょフォーラム	小学校に向向いて行う、選挙に関する出前講座を実施。 令和4年5月18日：品濃小学校 令和4年5月26日：舞岡小学校 令和4年12月21日：平戸台小学校	品濃小学校：6年生117人 舞岡小学校：6年生46人 平戸台小学校：6年生41人
通年	明推協通信	推進委員・推進員向けの明推協の機関紙を年2回（2月・10月）発行。	

▼せんぎょフォーラム



▲明推協推進員等研修会



▲「はじめての不在者投票！」啓発動画

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	4月にJR・市営地下鉄戸塚駅にて、通行人にポケットティッシュを配布しながら、投票参加の呼びかけを実施。	参加人数：8人
広報よこはま戸塚区版3月号による啓発	投票日、当日投票時間のほか、期日前投票と不在者投票についての広報を実施。	
X(旧Twitter)による啓発	戸塚区公式X(旧Twitter)での啓発を実施。 (内容：投票日の告知、エフエム戸塚の告知、期日前投票の告知)	
エフエム戸塚による啓発	戸塚区選挙管理委員会書記がラジオ番組に出演し、投票を呼びかけ。	
区ホームページの作成	統一地方選挙にかかる内容の特設ホームページ(区版)を公開。	
区庁舎での啓発	区庁舎に横断幕を掲出。	

栄 区

栄区明るい選挙推進協議会では、「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

3年ぶりに開催された栄区民まつりでは、選挙啓発ブースとしてキャラクター投票体験コーナーを出展し、約600人の方に投票していただきました。

施設見学研修会は二部構成とし、第一部では、議会棟会議室にて栄区明るい選挙推進協議会の活動報告や推進員の役割を確認しました。第二部では、実際に本会議場や傍聴室などを見学し、議会の仕組みや選挙の重要性について確認しました。

小・中学校に出向いて開催した「せんきょフォーラム」では、選挙の概要・重要性について講座で説明してから、投票体験を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年	せんきょフォーラム	区内小・中学校を対象に選挙出前講座を実施。	
8月		横浜市立西本郷小学校	参加人数：約80人
11月		横浜市立西本郷中学校	参加人数：約140人
11月		横浜市立本郷小学校	参加人数：約110人
12月		横浜市立庄戸小学校	参加人数：約40人
12月		横浜市立本郷台小学校	参加人数：約70人
11月	栄区民まつり明るい選挙啓発事業	選挙啓発ブースを出展し、投票体験の実施と選挙啓発パネルの展示。	参加人数：約600人
11月	施設見学研修会	横浜市議会棟にて施設見学会を実施。	参加人数：約10人
通年	啓発物品作製・配布	選挙啓発用懸垂幕の作製、選挙啓発用ハンドタオル、選挙啓発用メモ帳、選挙啓発用ふせんの作製・配布。	
通年	選挙器材貸出し	区内の学校で実施される生徒会選挙に際し、選挙器材の貸出しを実施。	貸出し実績：8件
通年	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。	頻度：3回

▼ 常時 施設見学会



▲ 常時 選挙フォーラム

期日前投票所	投票期間	投票時間
栄区役所 新館1階	3月24日(金)～4月8日(土)	あさ8時30分～よる8時
イトーヨーカドー・イトーヨーカドー2階	3月24日(金)～4月8日(土)	あさ10時～よる8時
コミュニティプラザ	4月11日(土)～4月8日(土)	あさ10時～よる8時

選挙時 神奈中バス ▶

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	選挙広報用CDを流しながら、啓発ポケットティッシュや啓発物品を配布し、投票参加を呼びかける街頭啓発を実施。場所：JR本郷台駅前	参加人数：12人 実施日：4月3日
神奈中バス車内デジタルサイネージによるPR	バス運転席背面の液晶モニターに選挙啓発画面を放映。	掲載期間：3月10日～4月9日
タウンニュース（港南区・栄区版）を利用した広告掲載	広報よこはま（3月号）と併せて、タウンニュース区版に投票日・期日前投票期間などを掲載。	掲載期間：3月24日～4月9日
HP・SNSを用いた啓発	栄区ホームページやX（旧 Twitter）、LINE、ピアッツァ（地域SNSアプリ）にて、投票日及び期日前投票期間などを掲載。	掲載期間：3月24日～4月9日

泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙の実現」と「有権者の選挙への関心を高める」ことを目標として、様々な啓発活動に取り組んでいます。

令和4年度は、「泉区民ふれあいまつり」や「明るい選挙のわいわいファミリーフォーラム」など、コロナ禍で開催を中止していたイベントを再び開催することができました。また、「せんきょフォーラム」での選挙啓発リーフレットの配付や模擬投票の実施、区内中学校への選挙器材の貸出し等も行い、幅広い世代へ向けた啓発活動を実施しました。

また統一地方選挙時は、市内5区合同で期日前投票所を案内する相鉄線車内広告を掲出したほか、啓発ポスター及びポケットティッシュを区内地区センターや大学等に配布し、積極的な投票参加を呼びかけました。



▲「明るい選挙のわいわいファミリーフォーラム」での啓発パネル展示



▲「泉区民ふれあいまつり」での模擬投票



▲「明るい選挙推進研修」でのグループワーク

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年4月	定例委員会	役員選任、令和3年度事業報告、令和3年度決算報告、令和3年度会計監査報告、令和4年度事業計画案・予算案の審議・決定。 場所：泉区役所	参加人数：10人
5月	啓発リーフレット「せんきょフォーラム」の発行	将来の有権者である区内市立小学校の6年生を対象に、選挙について学習する機会を提供する選挙啓発リーフレットを配付。	実施校：15校
10月	「あと3年」クイズの発行	市選管発行の社会科副教材「あと3年」を基にクイズを作成し、区内中学校及び戸塚区汲沢中学校の3年生に配付。	実施校：8校
11月	泉区民ふれあいまつり	啓発ブースを出展し、選挙に関するパネルの展示やクイズ、キャラクター人気投票等を実施。 場所：和泉遊水地	
12月	明るい選挙のわいわいファミリーフォーラム	選挙啓発動画及び映画「バディントン2」の上映、選挙に関するパネルの展示や投票器材を展示。 場所：泉公会堂	参加人数：112人
12月～令和5年1月	出前授業「せんきょフォーラム」の実施	小学校6年生を対象に選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業を実施。	実施校：5校
1月	明るい選挙推進研修	「『選挙ばなれ社会』における参加と退出・高校生・有権者意識調査から」をテーマに、埼玉大学名誉教授による講義を実施。 場所：泉区役所	参加人数：33人
2月	高校生向け啓発リーフレットの発行	高校生向け啓発リーフレット「高校生のためのせんきょブック」を作製し、区内高校の2年生を対象に配付。	実施校：4校
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員向けに事業の計画やボランティアの募集、活動報告等を掲載した機関紙を年3回発行。	発行月：6月、10月、令和5年2月

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材の貸出し	区内の中学校で行われる生徒会選挙に際し、選挙器材の貸出しを実施。	実施校：6校

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
相鉄線車内広告掲示（5区合同）	相鉄沿線の5区（泉・西・保土ヶ谷・旭・瀬谷）合同で相鉄線全線に期日前投票所の案内広告（窓上ポスター）を掲示。	設置期間：令和5年3月1日～3月31日
広報誌（①タウンニュース 泉区版②広報よこはま泉区版）による啓発	①タウンニュース泉区版及び②広報よこはま泉区版に、統一選期日前投票案内及び統一選当日投票案内の記事を掲載。	実施日： ①タウンニュース泉区版：3月23日、4月6日 ②広報よこはま泉区版：3月号
泉区役所入口設置デジタルサイネージ及び戸籍課設置TVによる啓発	泉区役所入口にあるデジタルサイネージ及び戸籍課に設置しているTVへ期日前投票案内画像データを放映。	実施期間：3月24日～4月8日
区役所内における啓発	泉区役所内窓口に期日前投票所をPRする卓上のぼり、イコット Jr. むいぐるみ及び啓発用ポケットティッシュを設置。	実施期間：3月24日～4月8日
①横浜市公式 LINE 及び②泉区公式 X（旧 Twitter）による PR	①横浜市公式 LINE アカウント及び②泉区公式 X（旧 Twitter）アカウントを利用し投票案内を PR。	実施日： ①横浜市公式 LINE：4月3日 ②泉区公式 X（旧 Twitter）：4月1日

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた事業も実施することができました。10月には3年ぶりに開催された瀬谷フェスティバルに選挙ブースを出展しました。こどもから大人まで多くの方が来場し、啓発物品の配布が早期終了するほどの盛況ぶりを見せました。また、12月には明るい選挙こども映画会、1月には推進員研修会やせんきょフォーラムを実施しました。

令和5年4月の統一地方選挙では、推進員等の方々に御協力いただき、啓発ティッシュを地域へ配布していただき、投票参加を呼びかけました。



▲ ザ・イコット
(啓発ティッシュのポスティング)



▲ 瀬谷フェスティバル
(選挙ブースの出展)

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和4年5月	瀬谷区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議。	参加人数：推進委員25名
5月(第1回) 9月(第2回) 1月(第3回)	地区代表者会議	期日前投票所の立会人推薦依頼、啓発事業の応援依頼及び実施経過報告等。	地区代表者12名
7月(第1回) 1月(第2回) 3月(第3回)	せやイコット通信発行	推進員等へのお知らせや事業報告等を掲載した情報紙の発行。	推進委員・推進員約180名
10月	瀬谷フェスティバルへの選挙ブース出展	旧上瀬谷通信施設のはらっぱで開催。わなげコーナーを設置し、参加者の方々の選挙クイズのチラシや啓発物品の配布。	参加人数：約550名 ※当日御協力いただいた推進員12名
12月	明るい選挙こども映画会	瀬谷区民文化センターあじさいプラザで、参加した児童及びその保護者を対象に、選挙啓発アニメDVD及び映画「SING / シング：ネクストステージ」を上映。	参加人数：66名
令和5年1月	瀬谷区明るい選挙推進員研修会	推進員の身近な政治や選挙に対する関心・意識の向上と、推進員同士の連携の強化を目的に、区選挙管理委員会事務局職員、市選挙管理委員会事務局選挙課長による講義及び横浜市会棟見学を実施。	推進員等12名
	せんきょフォーラム	区内小学校6年生を対象に出前授業と模擬投票を実施。「卒業式退場曲」を選挙の題材とし、投票作業等を体験しながら選挙の大切さについて楽しく学習。	場所：南瀬谷小学校 参加人数：約130名
通年事業	区内各学校への選挙器材等の貸出し	将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を深めるため、区内の学校へ生徒会選挙用、授業教材として実際の選挙に使用する投票器材や選挙運動用具の貸出し。	延べ10校に貸出し
	啓発物品の作製	アルコール消毒液等を入れる携帯用容器及びカラフルトートバックを作製。推進委員・推進員や推進員研修会、せんきょフォーラムで配付。	

●統一地方選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
「ザ・イコット」啓発ティッシュの配布等で実施	12地区の推進員の方々に、約14,500個の啓発ティッシュを各世帯へのポスティング等で配布。	参加人数：約150名
相鉄線への車内広告	相鉄線沿線の5区で共同し、相鉄線の車両内に期日前投票を周知するポスターを掲出。	
駅横断幕の作製・掲出	期日前投票周知の横断幕を作製・掲出。	掲出場所：相鉄線瀬谷駅南北自由通路
タウンニュース(瀬谷区版)への掲載	期日前投票を周知する記事を令和5年3月23日号に紙面及びWEBに掲載。	約23,000部を折込配布・施設配架



▲ 明るい選挙推進員研修会

横浜市 令和4年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修等事業	市・区明るい選挙推進大会の開催を通じて、市区明推協の推進委員・推進員（以下推進委員等）の意識高揚を図りました。 1 市・区明るい選挙推進大会 開催日：令和4年11月10日（木） 会場：新都市ホール	決議文採択・記念講演・各区活動パネル展示
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、各区が実施する出前授業の支援を行いました。 また、横浜市若者選挙啓発団体「イコットプロジェクト」及び「イコット Jr. プロジェクト」の啓発活動を積極的に支援しました。	1 イコットプロジェクト及びイコット Jr.プロジェクト啓発活動支援 2 市選管との連携による啓発事業
（公財）明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	（公財）明るい選挙推進協会が主催する研修会や各種フォーラムに参加し、他都市の先進事例等の情報を収集するとともに、連携を深めました。	1（公財）明るい選挙推進協会連携事業各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協推進委員・推進員を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、各区へ配付しました。	発行数 3,300冊
白バラよこはま（No.52）発行	市及び区の令和3年度に実施した各種啓発事業紹介や令和4年参院選の実績、推進員の心得等を掲載した機関誌を作成し、推進大会等で関係者に配付しました。	発行数 1,900部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考	
選挙管理委員会単独事業	若年層啓発事業	若者間で普及しているSNSを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行いました。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しました。 また、高校生の視点から若年層の投票率向上に向けた取組を企画・実施することで、選挙に関する理解を深めるとともに、同世代の方々に投票の重要性を伝え、将来の投票参加のきっかけとすることを目的として「イコット Jr. プロジェクト」を立ち上げました。	SNS：随時発信
	選挙啓発冊子「はたちの投票Book」	二十歳の市民にとって必要な選挙の知識、選挙のルールを掲載した冊子「はたちの投票Book」を作成し、市内の二十歳の有権者全員に郵送しました。多くの人に読んでもらえるよう、冊子のデザインを一新しました。	郵送対象者：約35,000人 郵送日：12月5日～7日
	二十歳の市民を祝うつどい	二十歳の市民を祝うつどい会場内外での映像放映や場内放送で、二十歳の市民に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	日程：令和5年1月9日（月・祝） 会場：横浜アリーナ 対象：35,805人
	将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配付し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行いました。 また、市立高等学校等において、授業の導入部分をはじめ、生徒会選挙や実際に行われる選挙の前など、様々な教育活動の場で活用することを想定し、高校生向けの主催者教育動画を作成しました。	あと3年 配送：令和4年8月 対象：市内中学3年生 約31,500人
	選挙制度等の広報	市ホームページや郵便投票周知用リーフレットを活用して、選挙制度の周知を進める等、積極的な広報を実施しました。	実施：通年
市明推協との共催・連携事業	せんきょフォーラム	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前授業を実施しました。	実施：通年 会場：各区学校等
	啓発チラシの製作	若年層の投票率向上のため、住民票異動に関する周知チラシ及びイコットプロジェクトのメンバー募集チラシを作製し、市内協力大学の新生を対象に配付しました。	市内協力大学：3大学
	投票にイコット！キャンペーン	令和5年4月9日の統一地方選挙の投票率の向上を目指すとともに、統一地方選挙の認知拡大を図るため、「投票にイコット！キャンペーン」を実施しました。	1 各区イベント等で活用する啓発物品の作製 2 市営地下鉄（5駅）への駅貼りポスター掲出 3 デジタルサイネージ（みなとみらい駅・市庁舎）掲出
市明推協支援	明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援及び区明るい選挙推進研修会等の開催を支援しました。	
	明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクト・イコット Jr. プロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しました。	

選挙の周知を図るため、区庁舎への幕類の掲出や自治会町内会の掲示板へのポスターの掲出等に加え、今回から新たに街頭フラッグ（さくら通り、自動車道）や駅ホームドア広告を実施しました。また、各区では街頭啓発「ザ・イコット」をはじめ、多くの推進員等の協力を得ながら、工夫を凝らした独自啓発を展開し、投票日の周知、積極的な投票参加等呼びかけました。

今回の選挙では、横浜市統一地方選挙 PR キャラクターとして、松坂大輔さん、応援サポーターとして柳沢慎吾さんが就任し、幅広い世代に対して投票参加を呼びかけました。



▲ デコレンタ



▲ デジタルサイネージ（横浜ランドマークタワー）



▲ デジタルサイネージ（横浜駅ライトアップシート）

令和5年4月9日執行統一地方選挙 啓発事業実績

実施項目	数量・概要	内容
横断幕・看板等	約 300 枚	横断幕等による周知を実施（市営地下鉄、行政庁舎関係、地区センター、スポーツセンター、歩道橋、商店街、市内高校、特別支援学校、大学等）
街頭フラッグ	約 90 枚	みなとみらい動く歩道、みなとみらい周辺（さくら通り、自動車道）にバナーフラッグ広告を掲出
ポスター掲出	約 30,000 枚	自治会・町内会掲示板や保育園・幼稚園等、高校、大学、郵便局、公共機関等に掲出
啓発三角柱	20 枚	区庁舎の啓発三角柱を活用した広報を実施
公営ポスター掲示場	4,713 箇所	選挙運動用ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示
横浜駅構内広告	横浜駅	利用者が多く集まる横浜駅等へ集中的に広告を掲出（JR 横浜タワーアトリウム、JR 横浜駅ライトアップシート等）
鉄道車内ポスター	2 社線	鉄道車内広告中吊り等で、ポスターを掲出（市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン）
バス車内ポスター	5 社	バス車内広告等で、ポスターを掲出（市営バス、相鉄バス、京急バス、臨港バス、東急バス）
駅ホームドア	1 駅	駅ホームドアにポスター又はデジタルサイネージによる動画広告等を掲出（馬車道駅）
駅貼りポスター	市内 14 路線各駅	市内の駅に啓発ポスターを掲出（JR 京浜東北根岸線・横浜線・東海道線・横浜貨線・湘南新宿ライン、東急東横線・田園都市線・目黒線、みなとみらい線、相鉄線、京急線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、シーサイドライン）
巡回広報車	ラッピング電気自動車 3 台	啓発キャラクター等の音源を使用し、市内 18 区及び横浜駅・みなとみらい・横浜スタジアム等の市民が多く集まる場所での巡回啓発を実施
車体側面マグネットシート	約 1,700 枚	ゴミ収集車・公用車の側面に啓発マグネットシートを掲出
ゴミ収集車	約 700 台	収集車巡回中に、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送
公用車	約 50 台	区の広報車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送
広報よこはま市・区版	約 160 万部	広報の市版・区版の紙面を活用した周知活動を展開
投票のご案内同封啓発チラシ	約 180 万部	「投票のご案内」に啓発チラシを同封
選挙公報	約 180 万部	紙面の余白を活用し、投票日、投票時間、期日前投票等の情報を掲載
点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体等の会員	選挙公報を点訳、録音した「選挙のお知らせ」（浜視協号外）を作成、配布（区役所・図書館等へ設置）

実施項目	数量・概要	内容
新聞広告	7 紙	新聞に 5 段 1/2 サイズの広告を掲載（朝日・神奈川・産経・東京・日経・毎日・読売）
市広報番組等	2 番組	広報課所管のテレビ番組、ラジオ番組で選挙期日等の周知を実施（ハマナビ、ヨコハマ・マイチョイス）
テレビ CM 広告	60 本	15 秒のテレビ CM を放送
ラジオ CM 広告	60 本	20 秒のラジオ CM を放送
市営地下鉄車内・構内放送	市営地下鉄全駅	地下鉄駅で投票参加の呼びかけを音声にて放送
文字放送	1 番組	tvk データ放送（横浜市情報）で、広報を実施
駅等デジタルサイネージ	・横浜駅、新横浜駅、ランドマークタワー	利用者の多い駅やランドマークタワーのデジタルサイネージに動画等を掲出
鉄道車内広告	6 社線	車内画面にて選挙期日等の啓発を実施（JR 京浜東北根岸線・横浜線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、東急東横線、相鉄線）
バス車内動画広告	2 社	車内画面にて選挙期日等の啓発を実施（市営バス、神奈中バス）
市・区庁舎動画広告	市庁舎区役所	市・各庁舎のデジタルサイネージや戸籍課窓口電光掲示板・区民フロア等に設置している画面にて選挙期日等の啓発を実施
民間施設でのポスター掲示・動画放映	2 社	包括連携協定に基づき、民間施設でポスター掲示等の選挙啓発を連携実施（イオン、イトーヨーカドー）
若年層向け啓発チラシ	約 5,000 部	大学生を対象に入学式やオリエンテーション等で選挙啓発チラシを配付し、啓発を実施
若者選挙啓発団体との連携	—	若者選挙啓発団体と連携し、若年層に向けた啓発物品の配付等の選挙啓発を実施
大学構内に幕・看板を掲出	市内協力大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出
大学ホームページへの PR バナー掲載	市内協力大学	大学が管理するホームページ（ポータルサイト）に啓発広告を掲載
二十歳の市民を祝うつどい同封冊子	約 37,000 部	二十歳の市民を祝うつどい開催案内とともに選挙啓発冊子を同封
二十歳の市民を祝うつどい動画広告	横浜アリーナ	会場内等で選挙啓発動画の放映



▲ 啓発イベント



▲ 啓発イベント



▲ JR横浜タワーアトリウム大型バナー



▲ 街頭フラッグ (さくら通り)



▲ 街頭フラッグ (汽車道)

実施項目	数量・概要	内容	
横浜市ホームページ	市ホームページ	統一選ページを開設し、選挙公報や期日前投票所等の情報を掲載(市トップページにリンク設定)	
統一選特設サイト	特設サイト	啓発キャラクターを用いたデザインをベースに投票日や期日前投票を周知、選挙公報、候補者情報等を掲載	
Youtube	横浜市アカウント	啓発キャラクターを用いた啓発動画を横浜市アカウントページに掲載	
LINE	横浜市アカウント	選挙期日や期日前投票など、選挙関連情報を発信	
Twitter	市選管、区選管	選挙期日や期日前投票、啓発活動等を発信	
Google ディスプレイ広告	約5,200万回(インプレッション数)	啓発キャラクターを活用したバナーや動画等を広告掲載	
Yahoo ディスプレイ広告			
Youtube ディスプレイ広告			
LINE 広告			
Spotify			
Tver			
啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの啓発や、地域の会合等での投票参加の呼びかけを実施	
各区独自啓発事業	18区	各区選管・明推協が主体となり、独自の啓発活動を実施(飲食店等でのペーパーナプキンの配布、乳幼児健診等での啓発物品の配布等)	
啓発イベント	市内イベント会場	投票を呼び掛けるイベントを開催し、有権者の広く投票を呼びかけ	
投票にイコットキャンペーン	ポスター掲出	市営地下鉄ターミナル駅(あざみ野・新横浜・横浜・桜木町・上大岡)や区役所に啓発ポスターを掲出	
	デジタル広告	みなとみらい駅	利用者の多いみなとみらい駅や市庁舎でデジタル広告を掲載し、選挙の認知啓発を実施
	ウェットティッシュ	区民まつり等	各区の施設やイベント等で投票参加の呼びかけに活用



▲ 懸垂幕 (JR 桜木町駅前)



▲ 馬車道駅 ホームドアビジョン

実施項目	数量・概要	内容	
ポケットティッシュ	142,000個	各区啓発での投票参加の呼びかけに活用	
ブラカード	62本		
のぼり旗	54個		
既製の活用 啓発物品・資材	卓上マスコット	約230個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体
	イコットパンチング人形	22体	市及び各区に1~2体



▲ WEB 広告 (LINE)



▲ WEB 広告 (Yahoo !)

横浜市若者選挙啓発団体 「イコットプロジェクト」「イコットJr.プロジェクト」活動紹介

イコットプロジェクト

「イコットプロジェクト」は、若年層の投票率向上に向けた各種企画の検討及び実施等に自主的に取り組んでいる若者啓発団体です。令和5年8月時点で20名の大学生・社会人が活動しており、横浜市選挙管理委員会及び横浜市明るい選挙推進協議会が支援しています。

令和5年の統一選では、4月に入学式やオリエンテーションの機会があることから、学校生活で使いやすいメモ帳やボールペンによる啓発事業を企画し、メンバーが在籍する市内大学（神奈川大学、明治学院大学、横浜市立大学）で啓発を行いました。デザイン案をメンバーが作成するとともに、再生素材を使ったSDGsに繋がる啓発物品を作製しました。



再生紙を使用したメモ帳



エコクラフト ボールペン



大学での啓発

横浜市公式 YouTube チャンネルで公開中!

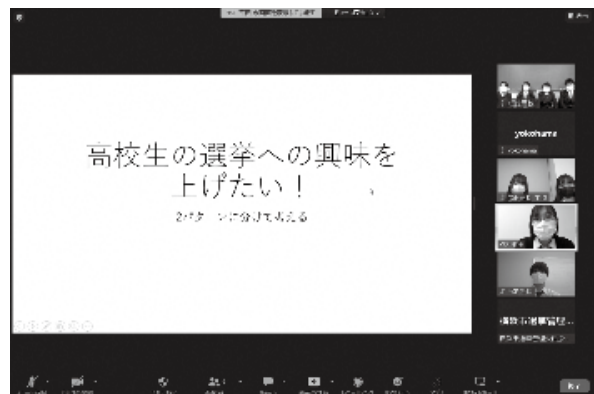


イコットJr.プロジェクト

若年層の投票率の向上や投票制度の理解を促進するため、令和4年度から新たに高校生の視点から選挙啓発の取組を検討する「イコットJr.プロジェクト」を立ち上げました。令和5年8月時点で4名の高校生が参加しています。高校生はYouTube等の動画での情報収集をよく行うということから、短い時間で投票の仕方や候補者情報の集め方の動画企画を検討し、製作しました。

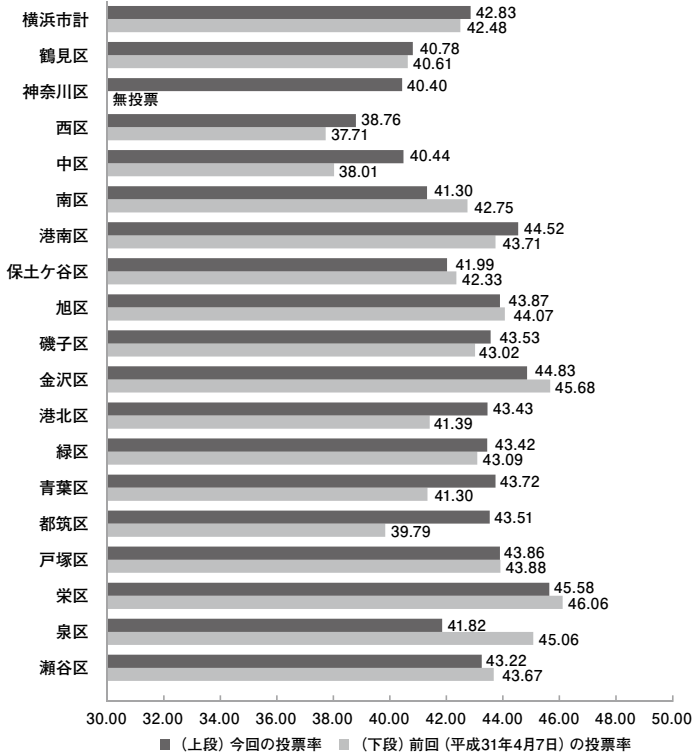


動画イメージ

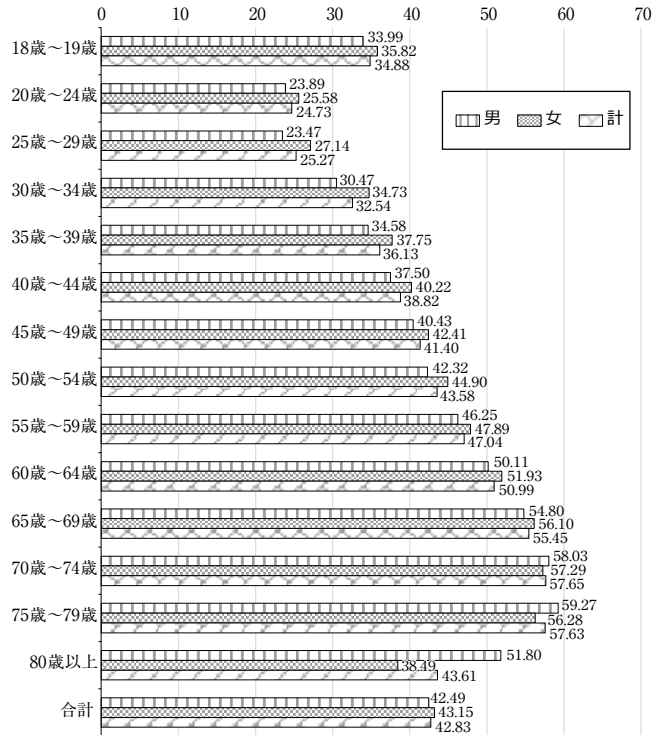


WEBによる意見交換会

<行政区別投票率(%)>



<年代別投票率グラフ>



統一地方選挙における横浜市の投票率について

投票に行くかどうかは、1票が効くかどうか、選挙で決まるものがどの程度大きいのか、投票に行くのがどのくらい大変か、そして守るべき民主主義をどのくらい高く評価しているかなどにより決まるとされています。

国政選挙では、1票の平等が多少是正され、横浜の投票率は全国のそれと等しくなっています。地方選挙においては、1票の平等は確保されていますが、四国4県の合計人口をも超える横浜市においては、一番身近な政治家であるはずの市議員も、日本一遠い存在になってしまっているようで、1票の有効性が小さく感じられ、投票率を上げるのが苦しいところです。しかし、今回の市議選、保土ヶ谷区は77票、鶴見区は28票が当落を分けたわけで、自分の一票が効くと思って投票所に向かいたいものです。

統一地方選挙の投票率は、市長選が離れ、3選挙になってしまった昭和54年に大きく下がったわけですが、しばしば無投票となり、2選挙にしてしまう県議選の影響も見られます。2回連続投票率最下位の西区は、県議選が2回連続無投票ですし、投票率上昇1位2位の都筑区、中区は、県議選無投票が解消された結果なのかもしれません。政令市、特に横浜の場合、県より通勤先の東京の影響が強かったりしますが、県議選においてもしっかりと選挙が行われることを期待したいところです。

年度替わり早々の統一地方選、18歳19歳の投票率が非常に高いのは、進学に伴う転出が少ない都市部ならではのことであり、住民票を移動させないままの転出が多い地方においては観察できるものではありません。実家に戻って投票するものも少ないからです。また、年度替わりに転居することも多い20代の投票率を高めるのは結構難しいことかもしれません。少なくともきちんと転出入届を出して住民票を移し、次の選挙に備えるようアドバイスしたいと思います。今回は、高齢者割合の高い区の投票率低下が気になりました。60代から70代の年代別投票率の低下に起因するところがあるのでしょうか。統一地方選の投票率が下げ止まったかに見られる昨今、高投票率で引っ張ってきた高齢者世代の低下は、コロナ禍とはいえ残念です。

2014年の香港雨傘運動「我要真普選」は、普通の選挙を行いたいというだけのものでした。民主主義国家においても、反知性主義・陰謀論などが国会乱入まで引き起こし、正当な選挙が危険にさらされました。きちんと選挙に参加し、正当な代表を選びたいものだと思います。



横浜市立大学 国際商学部
国際マネジメント研究科 教授

和田 淳一郎

政治家の 寄付は禁止 有権者の 寄付要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、
ここに紹介されたようなことをすると
処罰されます。



町内会などの集会への飲食代や
品物の差し入れ
お祭りへの寄付や差し入れ



地域の運動会や
スポーツ大会への差し入れ



お中元やお歳暮など
ちょっとしたおみやげ



「贈らない」「求めない」
「受けとらない」の三ない運動



出産、入学、卒業、就職など
の祝い金や品物



秘書などが代理で出席する
お葬式の香典や花輪



開店祝いなどの花輪や祝い金

寄附禁止パネルも常時掲出しています！

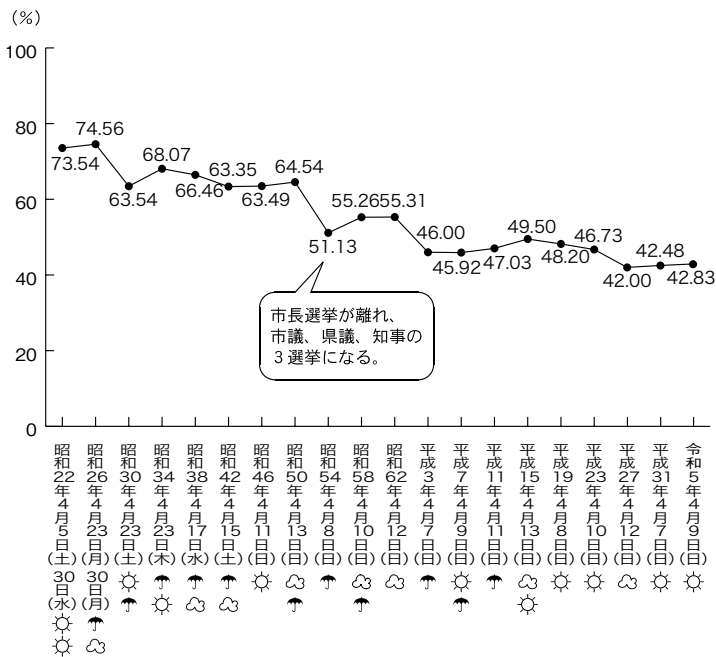


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

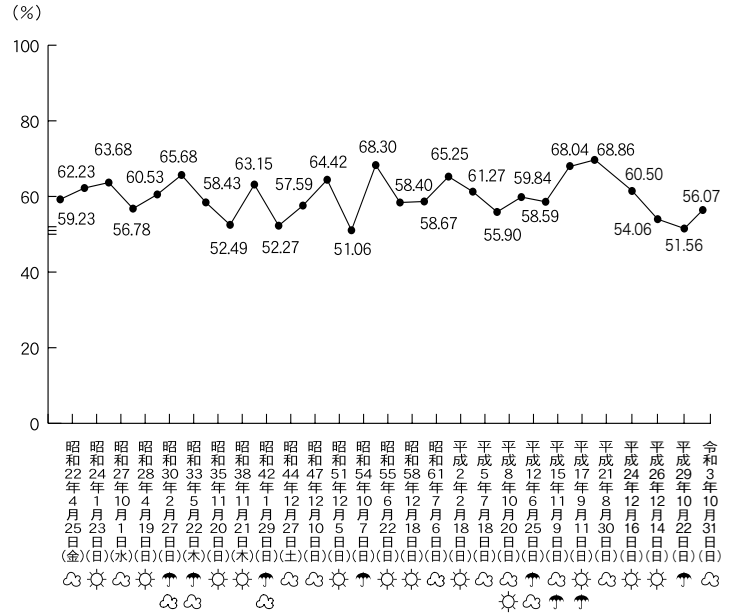
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



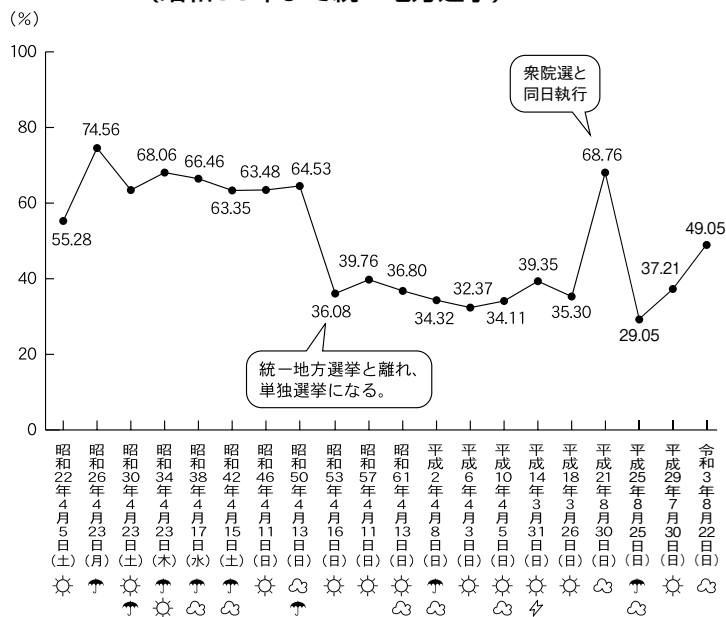
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



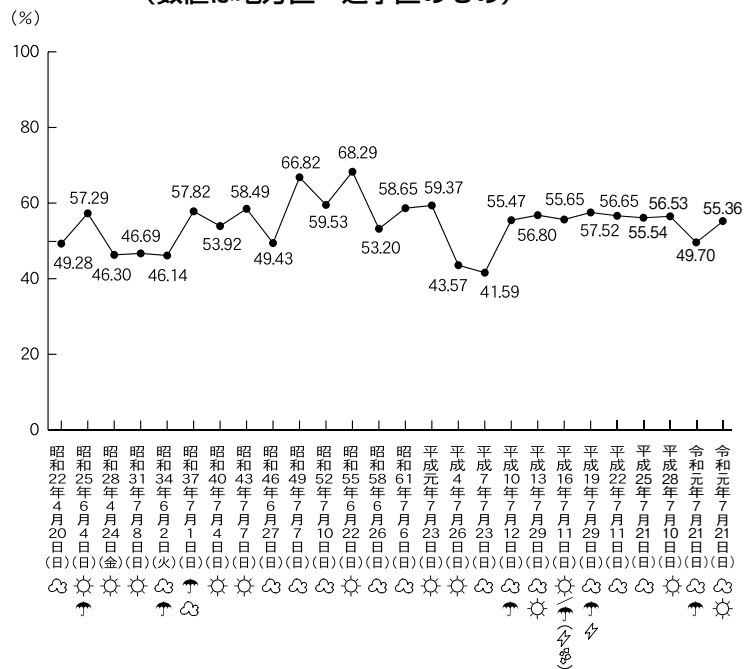
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



注) 第一回統一地方選挙

昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

◀【西区】さくらフェスタ啓発資料



◀【都筑区】都筑区民まつり



◀【南区】せんきょフォーラムの様子



◀【保土ヶ谷区】バンドバトル



◀【栄区】栄区民まつり



▶【泉区】出前授業「せんきょフォーラム」での講義



▶【旭区】旭ふれあい区民まつり



▶【青葉区】えら坊のぬいぐるみ、トートバッグ、啓発物出



▶【港南区】こうなん子でもゆめワールドでのブース出展



▶【瀬谷区】せんきょフォーラム 投票の様子

